

弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

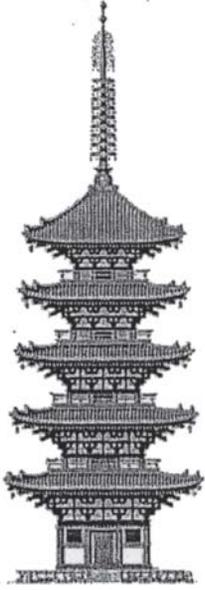
Kouhei@oh-kouhei.org

皆さん、明けましておめでとう
ございます。弘法さんかわら版も
十四年目に入りました。今年もど
うぞよろしくお願い致します。

★開創二二〇〇年

去年は四国霊場開創二二〇〇年。
かわら版筆者の私も、八月に室戸
市での記念事業の講演にお招きい
ただき、お大師様についてお話し
させていただきました。

それにしても、二五〇〇年前の
お釈迦様、一二〇〇年前のお大師
様が、現代の私たちに影響を与え
ているのは本当にすごいことです。
四国霊場と言え、言わずと知
れた八十八か所のお遍路。
一番から二十三番は阿波(徳島)
の「**発心(ほっしん)の道場**」。二
十四番から三十九番は土佐(高知)
の「**修行の道場**」。
四十番から六十五番は伊予(愛
媛)の「**菩提の道場**」。六十六番



から八十八番は讃岐(香川)の「**涅槃の道場**」。
全行程を歩いてお遍路すると、
全長**一三〇〇キロメートル以上**。
実際に歩き遍路に挑戦するには
十分な時間が必要ですねえ。

★十里十か所

鳴門市の中心部から西へ十キロ
メートルほど行ったところに坂東
という町があります。
そこにあるのが一番札所、**竺和
山霊山寺(りょうぜんじ)**。ご本
尊は釈迦如来です。
開創は**行基**。八一五年(弘仁六
年)頃、お大師様が二十一日間、
修法逗留。一番札所に定められま
した。

本堂に隣接した本坊納経所にお
遍路に必要なもの(**金剛杖、菅笠、
笈摺、納札、納経帖**など)が揃っ
ていますので、ここで身支度して
お遍路に出発します。
一番から十一番札所までは平坦
な道。昔から「**十里十か所**」と言
い、朝早く霊山寺を出発すると、一

日で十里(四〇キロメートル)十
か所の霊場を巡ることが出来ます。
霊山寺から二番札所、**日照山極
楽寺**までは一・一キロメートル。
ご本尊は阿弥陀如来です。
その昔、ご本尊の後光が鳴門の
海まで達し、漁に支障が出ました。
漁民たちは本堂の前に小山をつく
り、以来豊漁になったと言ひ伝え
られています。その逸話に因んで、
山号は日照山となりました。



四国八十八ヶ所霊場会公式HPより

★弁慶の力石

二番札所から三・一キロメート
ル、三番札所は**亀光山金泉寺(き
んせんじ)**です。
古くは金光明寺と称されました

が、お大師様が巡錫された折、霊
水が湧き出たことから金泉寺に改
名。その井戸は境内の**黄金井地藏**
の前にあり、ここを覗いて顔が映
れば長寿の願いがかなうと言われ
ています。

亀山法皇が深く信仰し、三十三
間堂を寄進したことから、山号が
亀光山となりました。

源平合戦の折、源義経がこの寺
で休息。弁慶が力自慢に担ぎ上げ
た「**弁慶の力石**」が置かれていま
す。

★金剛杖

お遍路さんが携行する**金剛杖**。
お大師様の分身として大切に扱
います。
宿に着いたら、お大師様の御足
を洗うかの如く、杖の先を洗い、
床の間にそっと立てかけます。

杖は仁王様(執金剛神)の持つ
金剛杵(しよ)を模し、上部は**五
輪(地水火風空)**を象(かたど)
り、お大師様のご加護で無事巡拝
できる護身の杖です。



★勝軍地藏菩薩

来月は四番から出発です。五番
のご本尊は**勝軍地藏菩薩**。ちよつ
と変わったお名前ですね。乞ご期
待。

